

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年5月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675200168
法人名	特定非営利活動法人ケアネットあいら
事業所名	グループホームにしきえ
所在地	鹿児島県始良市加治木町木田1133番地 (電話) 0995-62-5650
自己評価作成日	平成29年4月5日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	-----------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成29年4月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着型サービス、また地域における認知症ケアの拠点としても、気軽に相談やお越し頂けるように掲示板を設置しています。また、施設が核となり、地域や学校で介護劇を実施しており、理事長、管理者ともに地域の様々な役員も兼ねて、色々な機会に認知症の啓蒙活動を行っています。また、いつでも気軽に困った時、相談ができるような関係を作りたい想いの元、活動を継続しています。隣県で発生した熊本地震の中、地域の認知症高齢者の中心拠点として活動されていたグループホームと同様、当ホームも、地域の方々と共に助け合い、良好な関係性を構築し安心して生活を送ることができるようお手伝いできたらと考えております。当ホームの特徴として、全ての居室から外へ出れる開放的な造りになっており、防災、非常時の観点からも訓練時にはしっかりと活用されています。隣接地の地域交流センターも、近隣の敬老会や勉強会、サークル活動など様々な催しなどに利用していただいております。また小規模多機能ホーム共々、ご利用者様方の日々の活動や生活の様子などをホームページや、facebookなど活用し発信しております。遠方にお住まいの御家族からは好評を頂いており、開放的であるべきという想いから実施しております。また、熊本地震の際もこのfacebookがとても活用され、一つの日々の記録、援助の声の術として幅広く利用されたとのことで、今後もしっかりと継続して発信していきたいと考えております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームは、市街地に位置し病院や学校、文化会館などが近隣にあり、幹線道路からも近いため利便性が良い。
- 隣接した小規模多機能ホームや地域交流センターでの地域の方々との交流を盛んに実施しており、地域や学校などで行政職員、地域住民、施設職員などが参加し認知症介護劇団を結成し、認知症の理解や支援の方法など啓発活動を実践している。また、公民館などで認知症講座や認知症サポーター養成講座を開催するなど地域貢献している。
- 自治会に加入し、回覧版や地域交流センターでの行事などを通じて地域住民と交流しているが、広報誌の発行やホーム駐車場に掲示板を設置しホームの情報提供や利用者の日々の暮らしぶりを発信している。
- 管理者や職員は、面会時に、「ご家族連絡帳」を活用して意見、提案を含め広く意見交換ができるよう取り組んでいる。職員は、面会時は居室で本人と家族がゆっくり歓談できるよう配慮している。
- 年間の行事計画を作成し、外出支援やレクリエーション活動の充実を図り、利用者、家族、職員が七夕祭りや敬老会、クリスマス会などの行事を通じて食事を共にするなど家族との交流活動にも力を入れている。家族は、ホームに訪問がしやすいと感じており、面会者も多い。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り前にスタッフ全員で理念を復唱することで確認・共有しています。また、玄関・ホールに掲示して確認、認識できるようにしています。	理念は重要事項説明書に記されており、玄関にも掲示されている。管理者と職員は、朝礼などで理念や毎年度の標語を唱和し、コンプライアンスルールを確認、職員全員が認識を持ってケアに取り組むよう周知されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、施設の掲示板や回覧板にホームの便りを掲示している。地域のボランティアや保育園児も定期的に行事に参加しています。	管理者は、地域の役員として活動したり、自治会の回覧板を活用したり利用者の暮らしぶりを報告、駐車場前に設置された掲示板にて情報を発信したり、職員募集にも地域の方々の協力をもらうなど地域に密着した関係作りに努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域のお職種（薬剤師、看護師等）の方々と認知症介護劇団を結成して定期的に学校で認知症サポーター養成講座や公民館等で認知症講座を行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご利用者様の御家族、地域包括、民生委員等の参加で交流も広がり多種多様な意見を聞くことができ、良い情報交換の場となっており、サービス向上につながっている。	会議は、隣接の小規模多機能施設と合同で開催されているが、家族の参加が少ない。管理者は、今後利用者全員の家族に会議への参加を呼びかけることを検討しており、利用者本位のサービス提供や質の向上を念頭に置き、家族との関係性を一層深め会議への参加を検討していく予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃からお互いに良好な関係を築き、地域の役員をしていることもあり、蜜に連絡を取り合っています。また、介護劇にも参加して頂いています。	市担当者とは、日頃から密に連携を図り、介護劇への参加を頂くなど協力関係を築いている。また、市主催の研修会や徘徊模擬訓練に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中・夜間、コールマット等活用し、安全面に配慮しています。玄関は日中は施錠せず、各居室から自由に外へ出られるような作りになっています。無論、安全面に配慮して各居室、ホールからテラスへのガラス戸にはセンサーを設置しています	管理者や職員は、身体拘束防止についての意識が高い。安全への配慮を前提に徘徊センサーの必要性について会議で検証したり定例化された研修会や権利擁護に関する勉強会へ参加し、身体拘束の弊害などについて学んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎朝コンプライアンスルールをスタッフで復唱することで、虐待行為について確認を行っています。生活の中で身体チェックを行い、痣等ないか、確認を行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設内研修、勉強会、外部研修等への参加の機会を持ち、必要な制度の活用、職員間の伝達講習などで話し合い、知識を深められるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には書面を用いて家族に十分な説明を行い同意を得ている。疑義がある場合はその都度回答し、理解・納得して頂いた上で署名・捺印を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご利用者様が、自分の思いを気軽に話せる雰囲気づくりに努め、傾聴している。ご家族へは、管理者の他、相談窓口や行政等の窓口も伝えており、利用者様個々に御家族連絡帳を設け、面会時、忌憚なく意見が言える環境を作っています。</p>	<p>利用者とは、日々の暮らしの中で意見、要望などが出しやすいようコミュニケーションを取ったり、雰囲気作りに努めている。家族は、面会時に、「ご家族連絡帳」への記載を依頼し、利用者自身への依頼は勿論のこと、職員、ホームに対する要望などについて意見交換している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>カンファレンス・ミーティング等スタッフの意見を聞き、コミュニケーションを図るように努めている。また、食事会等も利用して意見を聞く機会を設けている</p>	<p>管理者は、毎年個人面談したり、会議などで意見、提案を聞き取るようにしている。福利厚生にも力を入れており、職員旅行・暑気払い、忘年会などを通じて職員との関係構築に努め働きやすい職場作りに取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>できるだけ希望する休日に合わせられるよう調整をし、各自が向上心を持って働けるよう職場環境の整備に努めている。資格取得時に奨励金を差上げるなどしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修・外部研修等を計画的に参加できるように実施しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>計画的に行われている研修会に参加しその場で情報交換をしたり、内容を施設に持ち帰り、サービスの質の向上を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にアセスメントを行い、困っていること、要望に対して、ご本人様・御家族と一緒にどのようなサービスを提供していくかを考え、安心して入居していただけるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の困っていること、要望にもできるだけ答えられるように、話し合いを持ち、小さなことでも相談助言ができる窓口を設けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に家族要望書の記載、提出を依頼し、入居時のご本人様、ご家族の要望等必要なサービスについての話し合いや説明を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様のできることを見極めながら、食器洗いや、洗濯物などを一緒にたたんでいただくなどの作業を通じて共に時間を過ごすなど行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年間事業計画を年度初めに送付して遠方のご家族に行事の予定をお伝えし、毎月郵送する広報などでも情報を伝えると共にフェイスブックにて日々の様子を発信するなどしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人・身内の方の面会も気楽に来て頂ける雰囲気作りに工夫している。帰宅願望の強い方には散歩や外出などの気分転換になれるよう選択して頂いている。	入居時に家族が記載したプロフィールを参考にして、生活歴やこれまでの習慣などが継続できるよう配慮している。自宅訪問したり、墓参りはスタッフが同行することもある。また、地域交流センター、小規模多機能ホームの通いの方などとの交流支援もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様間でレクリエーション・行事・作業等を通しお互いの関わりあえる機会を持てるよう支援をしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されたから終わりでは無く、ご利用者様のご家族とも連絡を取り合い、相談に応じたり助言等も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話の中から思いや意向を汲み取ったり仕草や表情から感じとれるよう心がけているが、それでも困難な場合は認知症指導者の研修を活かして検討している	職員は、本人の思いを毎月のカンファレンスの中で話し合っているが、「本人の居場所と役割」を重視し、認知症への理解や本人の思いに寄り添うケアについて話し合っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族から生活歴や生活環境等の情報を基に、ホームでも安心して生活して頂けるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身の状態の変化を見逃さず、早期発見に努め、日頃から一人ひとりの状態を把握して記録に残し、申し送りを行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、ご家族からの要望や、職員からの情報を基に、一人ひとりのニーズに沿ったケアプランを作成し、定期的に評価を行っている。認知症におけるその方の苦しみとはを念頭に入れての計画作成を行っています。	毎月のカンファレンスの中では、本人の思いを把握し、介護計画が利用者の意向に沿ったものであるのか検討し、再アセスメント、モニタリングした上で実態に沿った介護計画を作成している。また、計画変更についても柔軟に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の生活記録等に薬数やケア内容・状態・変化を記入しており、申し送り、連絡ノートを活用、また、定期的にカンファレンスを行い情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じて病院受診や外食、外出などの同行に対応している。可能な限り利用者が満足していただけるようサービスの取り組みをしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会や市内の行事に参加したり、ボランティアの訪問、民生委員の協力の基、心豊かに生活ができるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に月1回の内科受診や往診、必要に応じて歯科・皮膚科受診やその他の医療支援を行っている。	本人、家族が希望するかかりつけ医であり、訪問診療や外来受診により適切な医療が受けられる体制が構築されている。また、遠方の家族にもその都度報告し安心を得ており、看護職員による健康管理や24時間医療支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	適宜、看護師に相談・指導を受け健康管理に努めている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入退院時に情報提供書等での情報交換を行っている他、面会に出向いたり、関係者と連携し共有しています。また、定期的に開催される地域連携の会に参加するなどして関係作りを行っています。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	ご本人様、ご家族の意向を尊重し、当事業所でできることをチームで取り組んでいます。主治医や関係機関等、現在の症状や今後予測されることなど説明をいただき、相互に理解が深められるようにしています。	重度化や看取りに関する指針があり、入所時に説明をしているが、段階に応じてその都度意志確認し、ホームでできるケアについて、利用者、家族、医師、関係機関と十分に話し合いながら介護の方向性を話し合っている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時の対応マニュアルなど整備し、講習等を実施しています。法人内にAEDを設置して緊急時に対応ができるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練等実施するとともに、災害に対しての知識や避難方法等を職場内で研修等実施しています。特に昨年度は地域性を考慮して台風接近時における訓練を実施しました。</p>	<p>地域は、自治会長や近隣住民との協力体制があり、地域にも自動通報され避難訓練に参加して頂いている。職員は、非常災害や夜間想定火災訓練を年2回実施、消防署も近隣にあるので到着時間も早く、非常食、水などの備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いや挨拶などに注意し、日々の朝礼でコンプライアンスルールを復唱し、共通理解のもと、専門職性を活かし言葉かけなど留意しています。	毎年4月に接遇マナーの研修会を実施、コンプライアンスルールは玄関に掲示され、常に意識を持ってケアに取り組んでいる。職員は、言葉使いはもとより、声のトーンに留意して会話するよう心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のケアの中でご本人様の意思や希望を尊重している。また、カンファレンスなどの中でもご利用者様の苦しみとは何かを話し合いケアに実施できるように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全てに対応するのは難しいですが、可能な限りご本人様の希望に沿った支援を行えるよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散髪の際パーマや染髪などご希望に合わせて対応させて頂いています。また衣類等も着衣、購入等も選択していただいています。希望があれば女性職員対応でお化粧品等もしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事食などでは、お弁当やオードブルを作り、冬にはお鍋をするなど、季節の食材で食事をして頂き喜んで頂いています。また、お皿を洗って頂く、テーブルを拭いて頂くなどできることに応じてお手伝いを頂いています。	家族から野菜の差し入れがあり、旬の食材を取り入れ食事が楽しみになるよう工夫している。母の日のスイーツバイキング、父の日は、焼き肉料理、外食は皆で出かけ、花見には手弁当で楽しんでいる。年3回は、行事を通じて家族と食卓を囲む機会を設けている。また、エプロンたたみなど、能力に応じて手伝いもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の咀嚼・嚥下状態等も考慮し食事形態を替えたり、水分補給等も配慮しています。また、食事摂取量が少ない方には主治医と連携を図り好みの味の高カロリーゼリー等を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯の方は毎日義歯洗浄剤で消毒を行っている。また残歯の磨き残し、異常等が無いよう、都度口腔内のチェックも行っており、不衛生にならないよう努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を基にリズムやパターンを把握し、失敗が無いよう配慮をしています。また基本をトイレにて排泄して頂くよう心がけており、立位の難しい方などは2人介助にて安全に配慮し実施をしています。	排泄のリズムを把握し、食事の工夫や適度な運動を実施し、排便コントロールに努め、認知症に密接に関わりのある排泄の自律を目指している。職員は介助方法を工夫したり、なるべくトイレで排泄できるよう支援している。現在、ポータブルトイレの使用者はいない。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量に留意し、服薬に頼らずできるだけ自然排便が促せるよう、体操や適度な運動をするなど支援を行っています。バナナなどの繊維質の提供も定期的に行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	様々な状況により難しい状況等もあるが、可能な限り基本はご利用者様の意向に沿って入浴を実施している。	入浴は、基本2人介助で支援し安全面に留意している。異性介助にも配慮しており、利用者の希望やタイミングを図って、入浴を勧めるなど個々に応じた入浴支援を実践している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調などに配慮し、室温の調整、加湿器の設置など行っています。昼夜問わずご利用者様のペースに合わせて休息。睡眠をとって頂けるよう支援を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師の管理の基、処方等については説明書を綴り、職員全員で確認・把握ができるよう努めています。また、服薬変更時には様子観察の徹底をし、疑問など必要に応じて看護師に確認するなど対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様が出来ることを、職員と関わり合いながら実施しています。役割（洗濯畳み、新聞折り、草取り等）等会話を楽しみながら気分転換の支援も行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	必要に応じて気分転換に散歩やテラスでの日光浴、お茶などしています。ご家族の方と協力しながら地域の行事にも参加して頂いています。また、遠足やドライブなどで普段行けない遠方の場所などへもお連れするなどしています。	ご夫婦が手を繋いでお散歩されたり、テラスでお茶タイム、外気浴をしている。花見や七夕祭り、花火見学、運動会見学、初詣などのふるさと訪問をしている。また、ドライブして地域に出かけたり、初午祭は、ホーム前で見学できるよう配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>全ての預り金はホームで管理をさせて頂いております。お出かけやお買い物、行事などに出られた際など I A D L の支援を実施し、援助をしながら買い物等を楽しんで頂いております。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>全ては困難ではあるが、できる限り、ご本人様の要望にお応えし、電話等されたい時は頂く様対応しています。また子機を使用することで、ご利用者様、ご家族のプライバシーへの配慮を行っています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有スペースには季節行事に合わせた創作品や生け花等をおき、季節感を出しています。また、ご利用者様に作って頂いた、掲示物や書など飾っております。室温や湿度にも配慮し、快適に過ごせるよう支援しています。</p>	<p>利用者は、互いのユニットを行き来し交流している。対面キッチンがあり、広々とした空間で採光があり、壁面には書道や行事の写真などが掲示してある。玄関には季節の生花が活けてあり掃除も行き届き、また、空気清浄器を活用するなど、快適な居住空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールでの余暇が過ごせるよう、椅子やソファの配置、ご利用者様方の関係性に配慮するなど一人一人が居心地よく過ごせるよう工夫しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具や愛着のある物などを配置し、馴染みの物に囲まれ安心して過ごせるよう配慮しています。</p>	<p>居室には、テラスがあり廻り通路になっていて毎週日曜日には寝具類を干して気持ち良く睡眠が取れるよう配慮している。テレビ、タンス、椅子などの使い慣れた物を持ち込み、家族写真が掲示され居心地よく過ごしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室入口には名前や写真やその方の状態、トイレや浴室などの場所がしっかりと分かる様目印を掲示し、目で見てしっかりと確認でき、自立した生活の支援ができるように配慮しています。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない